

地方よ立ち上がれ！！

アフターコロナの新常識！新しい県のモデルは海老名から。地方から県と国を変える、海老名の全ジャンル住みたい地域NO.1へ。私たちの未来の最幸モデルと一緒に創り上げましょう。人口減少社会をゼロから創り直し、新しいアプローチで日本を変える【スマートハートフルシティ構想】を実現します。



令和の改新 海老名編

アフターコロナ＆ネクストノーマルの時代に向けて

いよいよアフターコロナ時代、そして新しい日常（ネクストノーマル）の2023年度。緊急海老名市再生計画「暮らしの安全と海老名経済の強靱化を！オールスマイルプロジェクト」を即実行し、海老名市のまち・ひと・しごと創生総合戦略を実現します。



「笑える革命」を皆さんと共に

「令和の改新海老名編」では、3つの課題の改革を行います：



令和の改新、新しい地域の形を海老名市から創り出し、日本と日本人の幸せのあり方をゼロから創り直す「START 0」ミッションを開始します。新しい暮らしの形、地域から新しい地域社会・海老名のあり方、未来を創る「スマート de ハートフル シティ」の誕生をめざします。

海老名が目指す未来像

「スマートハートフルシティ構想」の全体像

スマートハートフルシティ構想とは、最新のテクノロジーを活用しながらも、人の温かさや思いやりを大切にする新しい都市モデルです。

テクノロジーの活用

AIやIoTなどの先端技術を活用し、市民生活の利便性向上と行政サービスの効率化を実現します。地域全体のWi-Fi化やデジタル行政の推進により、誰もが簡単にサービスを受けられる環境を整備します。

人に優しい社会基盤

高齢者や子育て世帯、障がいのある方など、すべての市民が安心して暮らせる社会基盤を整備します。「お守りシステム」による見守りや、バリアフリー化の推進により、誰も取り残さない社会を実現します。

経済の活性化

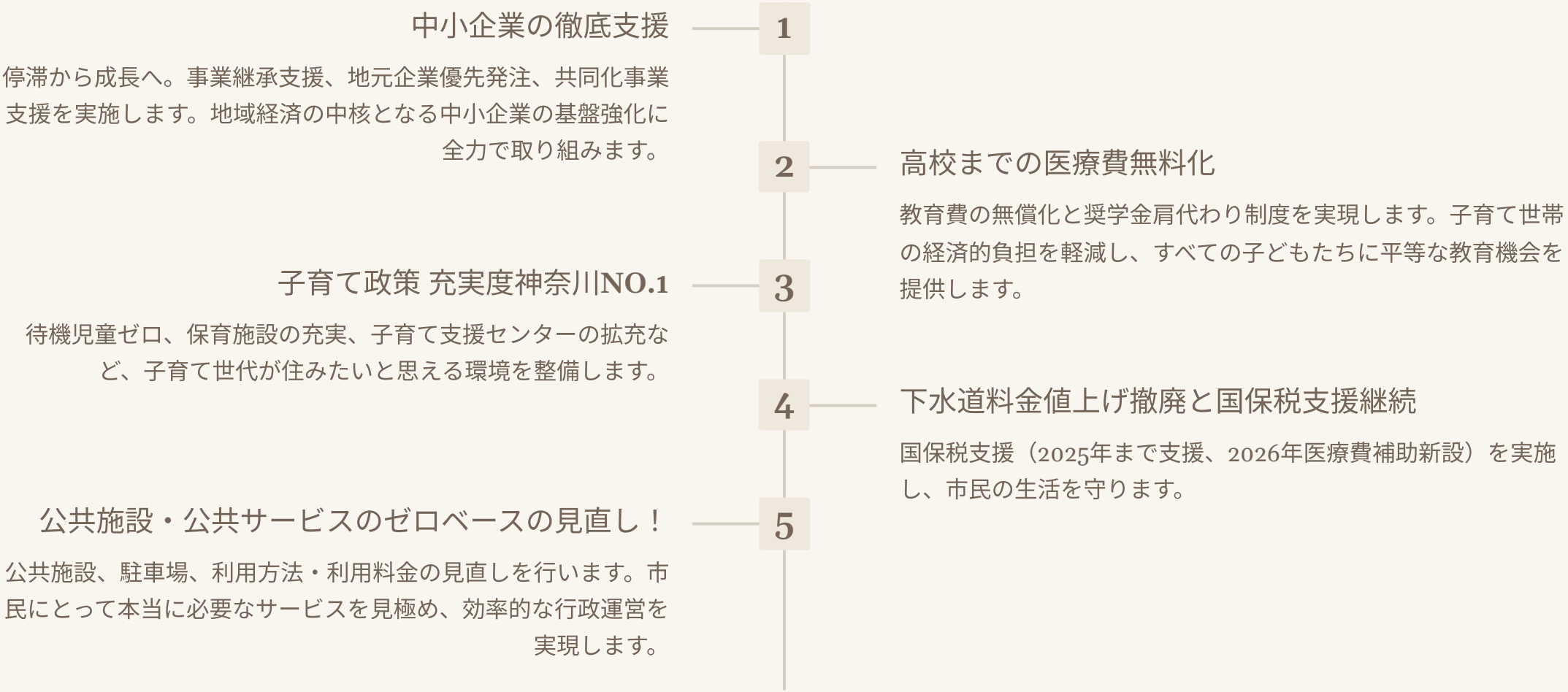
地元中小企業の支援や新たな産業創出により、地域経済の活性化を図ります。海老名独自のブランド価値を高め、市外からの投資や観光客を呼び込む仕組みを構築します。

この構想を実現することで、海老名市は「全ジャンル住みたい地域NO.1」になるだけでなく、日本全国の地方創生のモデルケースとなります。アフターコロナ時代の新しい地方自治のあり方を海老名から発信し、日本全体の変革につなげていきます。



氏家の約束する政策（続き）

海老名編 - 主な施策17選の続き



これらの政策を通じて、海老名市を「全ジャンル住みたい地域NO.1」へと変革します。市民の皆様一人ひとりの幸せを最優先に考えた政策を実行していきます。



氏家の約束する政策（続き2）

海老名編 - 主な施策17選の続き

海老名市と高度教育の融合

地域の若者が地元で高等教育を受けられる環境を整備します。地域に根ざした研究・教育活動を通じて、海老名の未来を担う人材を育成します。産学連携の拠点となる新たな分室や研究機関を設立し、地域の知的基盤を強化します。

地元中小企業、第1次2次産業のブランディング&スーパーセール

海老名の優れた産品や技術を全国に発信するブランディング戦略を展開します。定期的なスーパーセールの開催により、地元経済の活性化を図ります。地域の特色を活かした独自の商品開発を支援し、海老名ブランドを確立します。

中学校まで給食無料+健康給食の実施

すべての子どもたちに栄養バランスの取れた食事を提供します。地元食材を活用した健康給食により、子どもたちの健やかな成長を支えるとともに、地元農業の振興にも貢献します。食育の推進により、将来にわたる健康的な食習慣を形成します。

教育の後退化に待った！

デジタル時代に対応した教育改革

1

デジタル教育の推進

英語のデジタルテキストの導入、黒板の撤去、デジタル黒板化、一部デジタル教科書化を推進します。IT化に順次対応し、子どもたちが未来の社会で活躍できる力を育みます。

2

小規模教育の価値を守る

小中学校の統廃合に待った！寺小屋制度の導入により、きめ細かな教育を実現します。子どもたち一人ひとりに向き合う教育環境を整備します。

3

施設の効率的活用

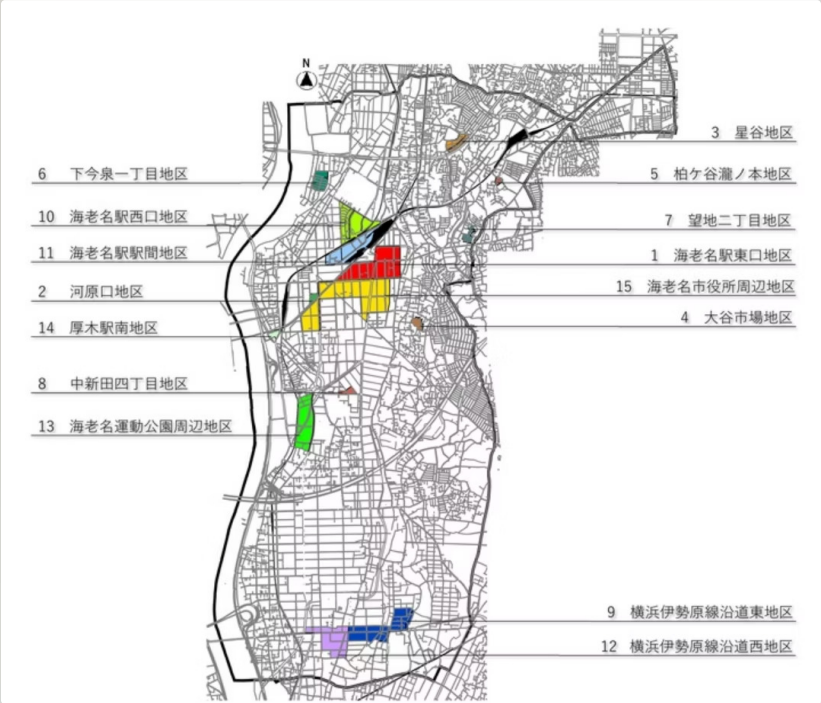
プール設置の見直し、非効率スポーツ施設の廃止など、教育施設の効率的な活用を図ります。限られた予算の中で最大限の教育効果を得られるよう、施設整備を見直します。

4

教育費負担の軽減

教科書の無料配布、奨学金の肩代わりなど、教育に関する経済的負担を軽減します。家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもたちが平等に教育を受けられる環境を整備します。

教育は未来への投資です。目先のコスト削減だけを考えた教育の後退化に反対し、子どもたちの可能性を最大限に引き出す教育環境を整備します。デジタル技術も活用しながら、温かみのある教育を実現し、海老名の未来を担う人材を育成します。





少子高齢化のスーパー支援制度の創設

すべての世代が安心して暮らせる海老名へ

子育て支援の環境整備

託児所の市の担保、女性起業の各支援制度の拡充実施を行います。幼児1人につき、年間3万円の支給制度を新設し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

安心して子どもを産み育てられる環境づくりは、少子化対策の根幹です。保育施設の拡充、子育て相談窓口の充実、地域全体で子育てを支える仕組みづくりに取り組みます。

女性が働きながら子育てできる環境を整備することで、ワークライフバランスの実現と経済活性化の両立を目指します。

高齢者支援の充実

社会福祉施設の若者スタッフの技術向上支援および優遇制度の導入、市の担保化を進めます。高齢者の自動車運転安全装備への支援制度の充実、高齢者向けレジャー施設の設置・導入、高齢者の仕事・ビジネス支援を行います。

高齢者が単なる支援の対象ではなく、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを推進します。豊かな経験と知恵を持つ高齢者が、その能力を存分に発揮できる場を創出します。

高齢者の健康寿命延伸のための予防医療の充実、生涯学習の機会提供にも力を入れます。



海老名特別開発12区域の制定と事業支援

土地など海老名の価値を高めよう

海老名市の魅力と価値を最大限に引き出すため、特性に合わせた12の特別開発区域を設定し、重点的な開発と支援を行います。

中心市街地活性化区域

海老名駅周辺の商業・業務機能を強化し、にぎわいのある都市空間を創出します。歩行者優先の街づくりと緑豊かな環境整備により、市民の憩いの場を提供します。



農業革新区域

先端技術を活用したスマート農業の実践エリアとして整備。地元農産物のブランド化と6次産業化を推進し、農業の高付加価値化を図ります。



テクノロジーイノベーション区域

IT企業やスタートアップの集積地として、オフィス環境と起業支援施設を整備。産学連携の拠点としても機能し、新たな産業と雇用を創出します。



アクティブシニア区域

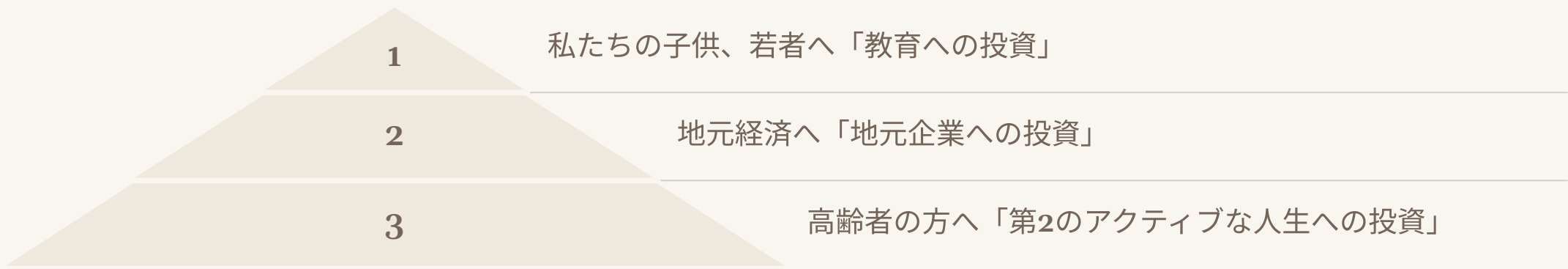
高齢者が健康で活動的に暮らせる住環境と医療・介護施設を一体的に整備。世代間交流の場も設け、シニアの知恵と経験を地域に還元する仕組みを構築します。

これら12区域それぞれに特化した支援策と規制緩和を実施し、民間投資を呼び込みます。区域ごとの特性を活かした開発により、海老名全体の魅力と価値を高め、「住みたい街No.1」を実現します。土地の有効活用と適切なゾーニングにより、調和のとれた都市発展を促進します。

3大投資の実行

未来の海老名に投資する

海老名の持続的な発展と市民の幸福を実現するため、3つの重点分野に戦略的な投資を行います。



教育への投資

- 待機児童0の実現
- 小中学校の統廃合に待った！
- プール復活の再検討
- 郊外活動の支援
- 不登校支援など教育に投資拡大
- デジタル教育の推進
- 寺小屋制度の導入

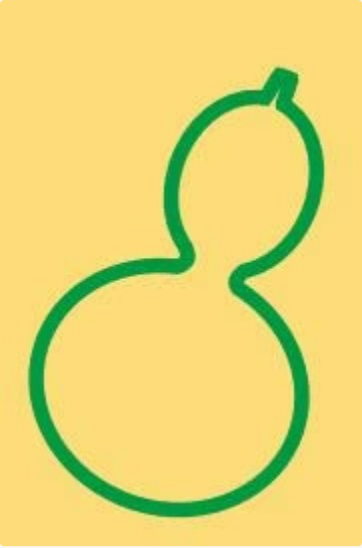
地元企業への投資

- 6次産業推進、1次産業の構造強化
- 海老名ルネッサンス事業の創設
- 海老名ダイバシティの実現
- 市長が海老名のTOP営業マンとして活動
- 事業継承の具体的支援策の策定
- 海老名コイン制度による地域経済活性化
- 若者起業支援、女性起業支援の強化

アクティブシニアへの投資

- アクティブシルバータウン構想の実現
- 市外から老後は海老名に来たいと思える総合福祉型住宅地域の建設
- 一貫した医療提供体制の確保
- 高齢者向けレジャー施設の設置
- 交通手段の見直し（コミュニティバスのルート拡大）
- 介護施策、介護事業の市の担保化
- 高齢者の仕事・ビジネス支援

緊急政策1「福祉シティ」の実現へ



子育て対策

医療費 高校まで無料

子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境を整備します。

保育料 無料

働く親の負担を軽減し、女性の社会進出を促進します。待機児童ゼロを目指し、保育施設の拡充にも取り組みます。

給食 中学まで無料

すべての子どもたちに栄養バランスのとれた食事を提供し、健やかな成長を支えます。

えびなこども公園 開園

子どもたちが安全に遊べる空間を整備し、家族の交流の場を提供します。

おむつ無料

乳幼児を持つ家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援を強化します。

療育・特別なニーズのあるお子様への支援向上

障がいのある子どもたちが適切な支援を受けられる環境を整備します。

高齢者対策

お守りシステム（日本初）導入

IoT技術を活用した見守りシステムを各家庭に無償で提供し、高齢者の安全を24時間体制で見守ります。

健康管理・まごごろサービスシステムの導入

定期的な健康チェックと生活支援サービスを提供し、高齢者の健康維持と生活の質向上を図ります。

移動・利便性の向上

コミュニティバスの拡充やデマンド型交通サービスの導入により、高齢者の外出を支援します。

アクティブシルバーの方の活躍の場の提供

豊富な経験と知識を持つ高齢者が社会参加できる機会を創出し、生きがいづくりを支援します。

医療補助制度の導入

高齢者の医療費負担を軽減し、必要な医療を受けやすい環境を整備します。

「福祉シティ」構想は、子どもから高齢者まですべての市民が安心して暮らせる社会を実現するための包括的な政策パッケージです。行政サービスの充実と地域の絆を強化し、誰一人取り残さない福祉のまちづくりを推進します。



緊急政策2「アフターコロナ対策」強靱に実施

セキュリティ・モビリティ・エネルギーの革新的課題の解決

セキュリティ対策の強化

感染症対策と防犯・防災を一体的に考えた新たな安全体制を構築します。

- AIを活用した防犯カメラシステムの整備
- 災害時の避難所における感染症対策の徹底
- サイバーセキュリティ対策の強化
- 非接触型の行政サービス提供体制の整備

モビリティ革新

新しい生活様式に対応した移動手段の確保と交通システムの再構築を行います。

- 自転車道の整備とシェアサイクルの導入
- オンデマンド型コミュニティバスの運行
- 電気自動車の充電スタンド設置促進
- テレワーク推進による通勤需要の分散化

エネルギー対策の革新

脱炭素社会に向けた地域エネルギー政策を推進します。

- ごみ焼却エネルギー化施設の整備
- 家庭用蓄電池導入への補助金制度の創設
- 公共施設への再生可能エネルギー設備の導入
- 地域マイクログリッドの構築による災害時のエネルギー確保

アフターコロナ時代において、これらの革新的な取り組みを総合的に実施することで、海老名市の強靱性（レジリエンス）を高め、市民の安全・安心な生活を確保します。新たな感染症や災害に対しても強い都市基盤を構築し、持続可能な発展を実現します。

緊急政策3 「市内あらゆる格差の是正」

市民一人ひとりが尊厳を持って生きられる社会を目指し、経済的・社会的な格差の解消に向けた包括的な支援体制を構築します。

経済的格差の是正

市民一人ひとりが経済的に自立し、安心して暮らせる社会を実現するための支援策を実施します。

- ひとり親支援の拡充 - 就労支援、住宅支援、子育て支援を一体的に提供
- 中小企業支援強化 - 資金繰り支援、デジタル化支援、人材確保支援
- 第1次産業の経営革新支援 - 6次産業化、スマート農業の導入支援
- 貧困救済 - 生活困窮者への包括的支援体制の構築
- 各手当の拡充 - 子育て世帯、高齢者世帯への経済的支援の強化
- 大学・高校教育費の100万円まで肩代わり - 教育機会の平等化

社会的格差の是正

すべての市民が社会の一員として尊重され、能力を発揮できる環境を整備します。

- 障害のある方への支援強化 - バリアフリー環境の整備、就労支援の充実
- 住みやすい街へスイッチ - ユニバーサルデザインの推進、多様性を尊重する地域づくり
- まごごろポイント（海老名コイン）制度の導入 - 地域での支え合いを促進する仕組みの構築
- 多文化共生の推進 - 外国籍市民との相互理解と協力関係の構築
- デジタルデバイドの解消 - 高齢者や障害者のICT活用支援
- 地域コミュニティの活性化 - 自治会活動の支援、世代間交流の促進

格差是正は単なる経済的支援にとどまらず、すべての市民が尊厳を持って生きられる社会の実現を目指します。「誰一人取り残さない」という理念のもと、包括的な支援体制を構築し、真の共生社会を実現します。



“Connect
our world”

氏家秀太の令和の改新「8つのお 8つのベクトル」

地域の行き先を定める8つの志

志1. 真の地方自治を確立させる

～海老名から県を変え、国を変える～

志1：地方に真の自治権を

憲法第8章の加憲、立法権の一部拡充を目指します。地方自治体が自らの判断で地域に最適な政策を実行できる権限を獲得します。

志4：スマートハートフルシティ構想の実現

アフターコロナ&少子高齢化&災害に強い新しい暮らしと街のあり方を創出します。テクノロジーの活用と人の温かさを両立させた新しい都市モデルを構築します。



志2：自ら稼げる基礎自治体を経営する

地域の資源や特性を活かした自主財源の確保と効率的な行政運営により、国に依存しない自立した自治体経営を実現します。

志3：教育改革と少子高齢化対策

県民力強化のための教育改革と社会人合理化計画、高齢化時代の老後20年のアクティブシルバープラン、特定技能制度の見直しによる移民問題対策を実施します。

これらの志を持って、海老名市を「全ジャンル住みたい地域NO.1」へと導きます。地方から国を変える、そのモデルケースとなる新しい地域社会を海老名から創り出します。

氏家秀太の令和の改新「8つの志」 (続き)

志5：全業種、全世代の生産性向上

真の働き方改革の推進、DX化の推進と間接業務を排除する取り組み、中小企業の革新と再生（イノベーション&ターンアラウンド）を実施します。生産性向上により、限られた人材で最大の成果を生み出す社会を実現します。

志6：消費税軽減税率対象拡大へ！そしてインボイス制度導入反対

中小企業や個人事業主の負担増加につながるインボイス制度の導入に反対し、消費税の軽減税率対象の拡大を目指します。地域経済を支える事業者の活動を妨げる制度には毅然と反対の声を上げます。

志7：貧困格差是正と国民・市民皆幸福制度の実現

ネオ社会保障制度への変革、ネオベーシックインカム創出により、すべての市民が最低限の生活を保障される社会を実現します。働き方や家族形態の多様化に対応した新しい社会保障の形を構築します。

志8：人口減少社会と低欲望社会の革新

「国家の衰退」から、たった今脱しなければなりません。人口減少と低欲望社会という課題に正面から向き合い、新たな価値観と社会システムを創造します。活力ある地域社会の再構築を目指します。

「国民はこのままで本当に幸せですか？」この問いかけから始まる改革。「失われた30年間」を終わらせ、真の成長と幸せを実現するための8つの志を掲げ、海老名市から日本を変える挑戦を始めます。



Shaping tomorrow,
today.

現状への問題意識

このままでは将来に不安を感じる市民の声に応える

「なんか...不安だな...」そう感じる人が多いのではないのでしょうか。それは、すべて国政や市政停滞が原因です！



海老名はせいぜい現状維持。このままでは将来は不安で仕方ありません。なんとなく現状維持で「まあまあじゃないの？」と感じている方も多いかもしれませんが、現実の数字を見れば一目瞭然です。

そんな閉塞感から脱却するために、地域行政の再出発のために、1人でも多くの人々の笑顔を見るために、私たちは行動を起こす必要があります。

もう癒着は要らない！

- 既得権益をぶっ壊し
- 市政を市民に取り戻せ！
- 地方自治を手に入れろ！
- 地域を国から独立させて、地方から新しい国をつくる

氏家秀太は、このビジョンを実現するために活動を開始しています。

VUCA時代に求められるリーダーシップ

V

Volatility

激動の時代

U

Uncertainty

不確実性

C

Complexity

複雑性

A

Ambiguity

不透明性

必要なのは 強く 身辺清浄な バイタリティ溢れる 「真の、新しいリーダー」

もはや、古い政治家では、この地域を変えることができません。停滞どころか、この地域の後退化が進行しているのです。実際に地域を変えるには、胆力が必要です。豪気、勇気、行動力、そして実践力が備わった真の新リーダーが、地域を変えることができるのです。

新しい基礎自治体の形は 氏家秀太（うじけしゅうた）が創る

いよいよ "本気" で活動を開始します。

氏家秀太の連絡先

ご意見・ご提案をお待ちしています



海老名市事務所

〒243-0435

海老名市下今泉2-2-2

スカイハイツ502

TEL: 046-xxx-xxxx

綾瀬市事務所

〒252-1107

綾瀬市綾西3-5-15

TEL: 046-771-1803

大和市事務所

〒242-0001

大和市下鶴間2974-5

TEL: 046-240-6679

携帯番号：090-6635-8888

うじけ しゅうた 氏家秀太

地域の未来について語り合しましょう。皆様のご意見、ご提案をお待ちしております。海老名市、綾瀬市、大和市の各事務所にて、随時ご相談を承っております。地域の課題解決に向けて、共に考え、行動していきましょう。

氏家の約束する政策（新しい地方自治広域創り編）



I 地方に本物の自治権を

憲法第8章の加憲、立法権の一部拡充を実現します。地方自治体が真に自立した行政運営を行うために必要な権限と財源を確保します。

II 3つの「立市町村」

		
社会保障立市町村の実現 財政改革、ネオ社会保障制度への変革、ネオベーシックインカム の創出を通じて、すべての市民が安心して暮らせる社会を実現します。	未来型経済立国の実現 市町村民総能力向上方針に基づき、生産性向上を図り、持続可能な地域経済を構築します。	市町村民力ダイバシティ 多様な人材が能力を発揮できる環境を整備し、地域の総合力を高めます。

これらの政策を通じて、国に依存しない、自立した地方自治体を実現します。地域の特性を活かした独自の政策を展開し、市民一人ひとりが主役となる真の地方自治を構築します。

氏家の約束する政策（新しい地方自治広域創り編） 続き

持続可能な地域社会の実現に向けて

Ⅲ 3つの「大投資」

01

私達の子供、若者へ「教育・子育てへの投資」

次世代を担う子どもたちへの投資は最も重要な未来への投資です。教育環境の充実、子育て支援の強化により、すべての子どもたちが健やかに成長できる社会を実現します。

02

地域経済へ「地元企業への投資」

地域の雇用と経済を支える地元企業への支援を強化します。特に中小企業の競争力強化、デジタル化支援、事業承継支援に重点を置き、持続可能な地域経済を構築します。

03

高齢者の方へ「老後・第2のアクティブな人生への投資」

高齢者が単なる支援の対象ではなく、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境を整備します。健康寿命の延伸、生きがいのづくり、社会参加の促進に取り組めます。

Ⅳ 総市町村民生産性・能力向上、AIワーク協調強化

各セグメンテーションの教育強化を行い、すべての世代の生産性と能力向上を図ります。

- 小学校・中学校・高等学校・高等教育の一貫した教育改革
- 社会人のリスキリングとキャリアアップ支援
- 15歳～34歳の若年層労働者の能力開発
- 管理監督者・リーダー層の育成
- 定年後の第2の人生層の活躍支援

Ⅳ インフラクライシス・老朽化基盤対策

インフラの再整備推進、未来再構築事業の推進、水道広域化など、老朽化する社会基盤の再生と強化に取り組みます。災害に強く、持続可能なインフラ整備を計画的に進めます。





海老名人イノベーター計画

デジタル革新時代に対応した人材育成と産業振興

1

デジタル革新時代のAI-readyな社会づくり

AIやデジタル技術を活用できる人材の育成と環境整備を行います。市民一人ひとりがデジタル技術の恩恵を受けられる社会を実現します。

2

R&Dへのリソース投下

技術革新への研究予算増加と高度人材の育成投資として50億円の基金を設立します。研究者の待遇改善、大学院生の育成グラントの整備、初等・中学校教育のAI-ready化の実現、大学・国研への交付金の増額、業務の効率改善、R&D予算の補正、大学の授業料無償化及び生活費補助を実施します。

3

効率化・生産性向上・合理化各施策の創設

業務プロセスの見直しとデジタル化による効率化、生産性向上を図ります。無駄な業務を削減し、創造的な活動に時間を割けるよう支援します。

4

AIによる能力向上

AIを活用した業務支援システムの導入により、市民サービスの質の向上と行政の効率化を実現します。AIと人間が協働する新しい働き方のモデルを構築します。

これらの施策により、海老名市民の一人当たりGDP 4万ドルの実現を目指します。イノベーションを生み出す土壌を整備し、海老名から世界に通用する新たな価値創造を行います。

海老名人イノベーター計画（続き）

多様性の推進と中小企業の基盤強化

V ボーダーレス強化・ダイバシティ

多様な人材が能力を発揮できる環境を整備し、海老名の総合力を高めます。

- 女性キャリア構築支援 - 育児や介護等で一時的にキャリアを中断した女性の再就職・起業支援
- 外国人人材受け入れ制度の問題総合対策の実施 - 言語サポート、生活支援、多文化共生の推進
- 多様な働き方の推進 - テレワーク、フレックスタイム、ジョブシェアリングなどの導入支援
- 障がい者の就労支援 - 特性を活かした雇用の創出と定着支援
- 若者の起業支援 - アイデアの実現をサポートするインキュベーション施設の整備

VI 中小企業基盤強化事業

地域経済の中核を担う中小企業の競争力強化と持続的発展を支援します。

- 知的財産権の保護制度の改革 - 中小企業の知的財産を適切に保護し、活用を促進
- 生産性向上、設備投資支援 - デジタル化、自動化設備の導入支援
- クラウドファンド制度の整備 - 新規事業や事業拡大のための資金調達手段の多様化
- 生産性向上のためのM&A推進と協業化支援 - 経営資源の有効活用と事業承継の円滑化
- DX推進 - デジタル技術を活用した業務効率化とビジネスモデル変革の支援

VII 農業・食料の令和の改新

地域の特性を活かした持続可能な農業の実現と食料自給率の向上を目指します。スマート農業の導入、6次産業化の推進、地産地消の拡大など、農業の高付加価値化と担い手の確保に取り組みます。



スマートハートフルシティ構想

地域OSづくりから始まる新しい都市モデル

地域OSづくり

行政サービス、交通、エネルギー、防災などをデジタルで統合管理する基盤システムを構築します。

プラットフォームの開発

BCP対策実施、スマートシティOSの稼働による、持続可能な都市運営を実現します。



生活弱者支援

高齢者、障がい者、子育て世帯など、支援が必要な方々が安心して暮らせるサポート体制を整備します。

貨物混載化推進事業

3PLの連携、受け取り方法の多様化推進（宅配BOXの商品化と宅配BOXの共有化・公共化等）を実施します。

地元食材の地産地消

地域内輸送のシステム化、地元中小企業によるチェーン化により、地元食材の流通を促進します。

スマートハートフルシティ構想は、最新のテクノロジーと人の温かさを融合させた新しい都市モデルです。デジタル技術の活用により行政サービスの効率化と質の向上を実現しながら、人と人とのつながりを大切にする温かみのあるコミュニティを構築します。

この構想は段階的に実施し、2030年までに海老名市全域での完全実装を目指します。市民参加型のプロジェクトとして進め、地域の知恵と力を結集して、誰もが安心して暮らせる持続可能な都市を創造します。

子育て・教育支援の大拡充

0—4歳 人口・希望 増福プラン

地域内給食格差の是正

市内すべての学校で質の高い給食を提供し、食育を推進します。地元食材を活用した健康的な給食を全校で実施し、子どもたちの心身の健全な発達を支えます。

私立高校まで授業料無償化家庭の拡大

経済的理由で教育機会が失われることのないよう、私立高校も含めた授業料無償化の対象家庭を拡大します。すべての子どもたちが希望する教育を受けられる環境を整備します。

寺小屋制度・課外授業施設の新設

放課後や休日に学習できる場として、地域の人材も活用した「寺小屋」を各地区に設置します。学校の学習内容の補完だけでなく、多様な体験や交流の場として機能させます。

待機児童数の0へ向けての助成

保育施設の新設・拡充、保育士の処遇改善、企業内保育所の設置支援など、総合的な対策を実施し、待機児童ゼロを実現します。安心して子育てと仕事を両立できる環境を整備します。

子育て・教育支援は未来への投資です。子どもたちが健やかに成長できる環境を整備することは、海老名市の将来を担う人材育成につながります。経済的負担の軽減だけでなく、質の高い教育・保育の提供により、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長できる社会を実現します。



災害対策 地域連携強化事業

未知の災害に強い国づくり

近年の気候変動による大規模災害や新たな感染症の発生など、これまでに経験したことのない災害に備えるため、地域連携による強靱な防災体制を構築します。

4市による防災・被災後共通強化対策の推進

海老名市、綾瀬市、大和市、座間市の4市連携による広域防災体制を構築します。物資の共同備蓄、避難所の相互利用、災害時の人員派遣など、自治体の枠を超えた協力体制を整備します。

レスキュー機能の強化

海老名レスキュー隊の設立・強化を通じて、災害時の救助・救援体制を充実させます。専門的な訓練を受けた市民ボランティアの育成も行い、地域の自助・共助能力を高めます。

被災共有制度の実施

被災情報や支援ニーズをリアルタイムで共有するシステムを構築し、効率的な災害対応を実現します。デジタル技術を活用した情報共有プラットフォームにより、支援の漏れや重複を防ぎます。

風速79mに耐える家づくり

超大型台風にも耐えられる住宅建設の促進と既存住宅の耐震・耐風強化を支援します。建築基準の見直しと改修費用の補助により、安全な住環境を整備します。



新エネルギー対策

持続可能なエネルギー社会の実現



ごみ焼却エネルギー化の推進

廃棄物を貴重なエネルギー資源として有効活用します。最新の技術を導入した清掃工場を整備し、ごみ焼却により発生する熱エネルギーを電力や地域熱供給に活用します。

これにより、廃棄物処理とエネルギー供給という二つの課題を同時に解決し、環境負荷の低減と地域エネルギー自給率の向上を実現します。

蓄電池補助金

家庭用蓄電池の導入に対する補助金制度を創設し、再生可能エネルギーの有効活用と災害時のエネルギー確保を促進します。

太陽光発電と蓄電池を組み合わせたシステムにより、日中の余剰電力を夜間に活用できるようになり、電力の地産地消と災害時の自立電源確保が可能になります。

市内の公共施設にも蓄電池を順次導入し、災害時の避難所機能を強化します。

これらの新エネルギー対策により、地球環境に優しく、災害に強い持続可能なエネルギー社会を実現します。市民、企業、行政が一体となって取り組むことで、海老名市のエネルギー自給率を高め、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献します。

地域中小企業 & 地盤事業プロデュース事業

地域経済の中核を担う中小企業の総合支援



商店街活用支援

空き店舗の活用、イベント開催支援、統一的な街並みデザインの推進など、商店街の魅力向上と集客力強化を支援します。地域コミュニティの核として商店街の再生を図ります。



間接業務の削減支援・ICT化支援・DX推進連携

中小企業のデジタル化を総合的に支援し、業務効率化と新たなビジネスモデルの創出を促進します。専門家派遣、セミナー開催、導入費用の補助など、きめ細かなサポートを提供します。



地域連携AI経営支援

AIを活用した経営支援システムを構築し、中小企業の経営課題解決を支援します。データ分析に基づく経営判断や業務改善の提案など、高度な経営支援を低コストで提供します。



事業承継モデル地域推進・地域連携M&A推進

後継者不足に悩む中小企業の事業承継を支援します。後継者育成プログラムの実施、M&Aのマッチング支援、事業承継税制の活用など、円滑な事業承継を総合的にサポートします。

これらの支援策により、地域経済の中核を担う中小企業の持続的発展を促進し、雇用の維持・創出と地域経済の活性化を実現します。特に、デジタル化の遅れや後継者不足といった課題に重点的に取り組み、中小企業の競争力強化と経営基盤の安定化を図ります。

 **INNOVATION
SOLUTION**

Empowering growth, di

まやかし政治・しがらみ市政をぶっ飛ばす

真の市民のための政治を取り戻す

もう、既得権益や癒着に支配された政治は終わりにしましょう！市政を市民の手に取り戻すために、断固たる改革を実行します。

長年にわたる同じ政治家や特定の団体による市政運営は、既得権益の温存や変化への抵抗を生み出してきました。真に市民のための政治を実現するためには、この構造を根本から変える必要があります。

1 市長の6選阻止と多選禁止条例の制定

長期政権による権力の私物化と政治の停滞を防止するため、市長の任期を3期までとする多選禁止条例を制定します。権力の循環による政治の新陳代謝を促進します。

2 まやかしの象徴「えびな未来創造プラン」の撤回・見直し

実現性の低い計画や市民ニーズを反映していない政策を根本から見直し、真に市民生活の向上につながる実効性のある政策を策定します。



市政の透明化と市民参加の促進

- すべての政策決定プロセスの透明化
- 市民参加型の予算編成（参加型予算）の導入
- 行政情報のオープンデータ化の推進
- 市民からの政策提案制度の創設
- 市政モニタリングシステムの構築

これらの改革により、特定の利益団体や既得権益に支配されない、真に市民のための市政を実現します。透明性と市民参加を重視した開かれた市政運営により、市民の声が直接反映される民主的な地方自治を構築します。



地元中小企業、第1次2次産業のブランディング&スーパーセール

地域の誇りを全国に発信

“

エリアマーチャンダイジング&エリアブランディングのプロデュース

海老名の地域資源や特産品を活かした独自のブランド戦略を展開します。地域全体のイメージアップと特産品の付加価値向上を図り、地域内外からの需要創出を目指します。統一的なデザインやストーリー性を持たせた商品開発を支援し、「海老名ブランド」の確立を促進します。

”

“

TOPセールスによる地元商品プレゼン

市長自らが「トップセールスマン」として、地元企業の商品・サービスを全国に向けて積極的にPRします。商談会や展示会への参加、メディア露出の増加により、販路拡大と知名度向上を支援します。市長の人脈とネットワークを活用した営業活動により、地元企業の売上拡大に貢献します。

”

定期的なスーパーセールの開催

年に数回、市内全域で「海老名スーパーセール」を開催し、地元商品の販売促進と市外からの集客を図ります。商店街や大型店舗、農産物直売所など、様々な業態が参加する一大イベントとして育成します。

オンラインマーケットプレイスの構築

地元企業の商品をオンラインで販売するプラットフォームを構築し、デジタル化による販路拡大を支援します。実店舗での販売が難しい小規模事業者も参加できる仕組みを整備します。

地元産品の統一認証制度

「海老名産」の品質保証と差別化を図るため、統一的な認証制度を設けます。認証商品には専用ロゴの使用を許可し、消費者に対する信頼性と安全性をアピールします。



まると地域WIFI & IoT改革 & AI化 & DX推進

デジタル革新時代のAI-readyな社会づくり

海老名市全体のデジタル化を推進し、すべての市民がその恩恵を享受できる環境を整備します。

100%

市内WIFI無償化

市内の公共空間すべてで無料Wi-Fiを利用できる環境を整備します。デジタルデバイドの解消と市民の利便性向上を実現します。

DX

行政のデジタル化

Internet of Administration（行政のIT化推進）により、行政サービスのデジタル化を推進し、市民の利便性向上と行政の効率化を実現します。

AI

市民サービスのAI化

AIを活用した市民サービスの高度化と効率化を推進し、24時間365日対応可能なサービス提供体制を構築します。

IoT

スマートシティ基盤整備

IoTセンサーやデータ収集システムを整備し、交通、環境、防災など様々な分野での効率的な都市運営を実現します。

デジタル活用支援

高齢者や障がい者など、デジタル技術の活用に不安のある方々向けの支援体制を整備します。

- デジタル活用支援員の配置
- 市民向けデジタルリテラシー講座の開催
- シニア向けスマートフォン教室の定期開催
- 障がい者向けデジタル機器の活用支援

地域データ利活用

地域データを収集・分析し、より効果的な政策立案と市民サービスの向上に活用します。

- オープンデータプラットフォームの構築
- データに基づく政策立案（EBPM）の推進
- 市民参加型データ収集プロジェクトの実施
- データプライバシーとセキュリティの確保